

**令和4年度 第2回
市民と議会の懇談会概要**

令和5年1月開催

宮 津 市 議 会

「市民と議会の懇談会」 概要

開催日時	令和5年1月23日（月） 午後1時25分～2時40分
開催場所	宮津市役所 第5会議室
相手方（人数）	宮津市地域女性の会 7人
担当	総務文教委員会

【主な意見・要望・提言等】

宮津市地域女性の会

以前は宮津市連合婦人会という名称で活動していた。「女性の資質及び地位向上、並びに地域の生活文化の発展と福祉の増進に寄与する活動を行う」を目的とし、京都府などの補助金を活用して宮津市の活性化につなげていこうと努力しながら活動している。

【意見交換など】

①担い手不足について

現在、市内（地域）に婦人会が残っているのは吉津婦人会のみ。後は個人加入で宮津地域女性の会に入っている。定期的な集まりは現在なく、メンバーが高齢化しており担い手がいないのが課題である。

以前、災害時に各地区（当時は吉津・府中・由良）3つの婦人会で炊き出しをした経験がある。現状担い手がいない中、再び災害が起きた場合、誰が対応するのか心配である。自己主義なのか若い人達の関心がないように思う。

②配食サービスの再開について

現在、公民館での配食サービスができない状況になっている。地域内では活動やサービスを楽しみにされている。どうすれば再開できるのか。

③その他

- ・行政へ地域要望されるが、住民も行政まかせではいけない。どうすればマイナス財政を取り戻せるか、住民も協力できることはしていかないといけない。行政を批判するのではなく、どうすれば自分たちでもできるのか。工夫・研究していくことが大事だと思っている。
- ・岩滝駅でサロン活動を行なっている。天井の隅が雨漏りしているため、天井が落ちてこないか、不安だ。
- ・阿蘇海清掃に府と市の職員、各組織で構成されている数名だけが参加している。高齢者には大変ハードな作業だが、人手がない状況である。議員を含め、実施する団体構成を検討してほしい。
- ・栗田地区は過疎化が深刻で、店舗の閉鎖が相次いでいる。行政に頼るばかりでなく、市民も一緒になって解決していきたいと考えているので知恵をかして頂きたい。
- ・吉津地区のタヶ丘団地が整備されたが、今後どのような構想なのか。
- ・由良の鉄橋を観光客などが写真撮影に来るが、道路や畑の脇に駐車をするため、交通面で危険な状況だ。傍に空き地があるので、写真スポットにするなど上手く活用できるように検討してほしい。

- ・由良地区は、宮津の東の玄関口でもある。もみじ公園やトイレは閉鎖でなく、活用できる方向で考えてほしい。
- ・宮津市は財政難であるため、議員はコスト等を見極めて、予算審査をしてほしい。
- ・公共交通手段が減り、不安だ。

【まとめ】

宮津市地域女性の会の皆さんが高齢化する中、コロナ禍により様々な地域活動が制限されていることも影響し、後継者である若い世代の方との接点がないことや女性の会への加入が少ないことが課題と考えられる。

若い世代を地域活動への参画にどう結び付けるかが一つのポイントである。本市の他の担い手の課題への対応にも通ずることと考える。

市民と議会の懇談会の概要を報告します。

令和5年3月30日

宮津市議会議長 徳本良孝 様

総務文教委員会 委員長 松浦 登美義

「市民と議会の懇談会」 概要

開催日時	令和5年1月30日（月） 午前10時00分～11時00分
開催場所	宮津市福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム
相手方（人数）	宮津市食生活改善推進員協議会（8人）
担当	産業建設福祉委員会 6人（欠席：河原委員）

【主な意見・要望・提言等】

①配食の問題点

- ・調理してその場で食べるのは許可されているが、配食ができなくて困っている。
- ・調理師がいないと配食はできないと聞いたがよく分からない。
- ・以前は配食することができたが、現在は保健所の指導なのか業者以外は配食が認められない。どうすれば可能なのか行政にはハッキリとしていただきたい。
- ・高齢者や独居の方の見守りがとても大切だと認識している。配食はただ食事を配るだけでなく見守りに繋がる。それができないのは現在の福祉の考え方から大きく外れると思う。
- ・食中毒のリスクを考えると配食の難しさは一定理解できるが、そもそも食生活改善推進員協議会の事業に参加したくても来ることができない人こそ助けが必要なのでは。
- ・議会の皆さんには、今後も配食ができるようご尽力いただきたい。

②活動費などのお金の問題

- ・調味料等は一度にそれほど多く使うものではないので、どうしても自分の家から持っていくことになる。
- ・会費をいただく事業の場合はよいが、普段は自腹をきって持ち寄ることが多い。
- ・市の公民館は無料で利用できるが、地区によってはその自治会所有の会館の場合、使用料が発生するため利用できないこともある。
- ・食生活改善推進員協議会の事業は公の事業だと思うので、市民が参加しやすいことを一番に考え、どこで開催しても会場費がかからないようにしていただきたい。

③その他

- ・コロナ禍で親子の食育講習会や親子料理教室などが開催できずとても残念に思う。
- ・資格を取って食生活改善推進員になってもボランティアではできないことも多く、今後の協議会の必要性を考えてしまう。
- ・今のままでは若い人をはじめとする後継者がいなくなる。
- ・市の養成講座をさらに活発化し、特に男性会員を増やしたほうがよいと思う。
- ・子どもたちの食育等、この協議会でできることはお手伝いしていきたい。
- ・私たちの活動によって「宮津市民の食生活が改善されている」と思わないと活動できない。喜んでいただけるのが励みである。

◆まとめ

- ・以前はできた配食が現在はできない。なぜできないのか、どうすればできるのか、を丁寧に説明する必要があるため、調査研究を進めていく。
- ・市所有の公民館はよいが、地域の会館等使用料が発生する会場は使いにくいとのご指摘を受けた。
- ・今のシステムのままでは後継者問題を含め食生活改善推進員協議会の存続を危惧しておられた。「喜んでもらえたら」という気持ちだけがモチベーションになっているように感じるが、「共助」の観点から考えても、今後もしっかりと後押しすることが必要ではないか。

市民と議会の懇談会の概要を報告します。

令和5年3月30日

宮津市議会議長 徳本良孝様

産業建設福祉委員会 委員長 小濃孝之